

家庭で食卓に並ぶトマトですが、出来るまで約100日！水耕栽培なので微妙な温度管理や水の栄養管理、受粉させる為の蜂の管理など本当に大変な業務と言う事が説明から理解できました。



すべて手作業が大きな特徴です。

1段のトマトの数は4個位

葉を細くしないよう一定の栄養提供をすることがポイント。もちろんトマトの実は栄養は補給するのだから葉が少く

ワイヤで吊っていました(ハイワイヤ方式)



受粉用の蜂です。

ハウス桃太郎です

CFハウス桃太郎



桃太郎プレミアムは枝から枝の距離があるをうです。

桃太郎プレミアムのもう一つの特徴は楕円形です。

りんかの特徴は枝から枝の距離が近く少々ゴチャゴチャしています。

長島水辺のやすらぎパーク

長島水辺のやすらぎパーク (ながしまみずべのやすらぎパーク)



概要 地図 道順

長島水辺のやすらぎパークは、発電用施設周辺地域振興事業の観光施設として補助金を受け、昔のたたずまいの風情を楽しんでいただけるように旧久我邸を改修し、休憩施設として整備したものです。久我家は江戸時代、長島藩の重祿にありました。しかし、明治4年(1871年)の廃藩置県によって一時は長島県が置かれ、当時の藩主増山氏が知事になりましたが時を経ず、安濃津県に編入され、明治5年(1872年)には三重県と改称されました。この時、久我家は戸長に任命され、長島・大島・松ヶ島・駒江・出口・又木・小島の各村を治め、明治22年(1889年)市町村制が施行されるまで続きました。昭和21年(1946年)、農地改革が施行され、地主として所有してきた農地が解放され、今日の屋敷が残り、家屋は明治12年(1879年)に建築されたもので、後、少々改修されたもののほぼ原型を留めており、明治の生活様式を知る上で貴重な建物であることから、後裔は長島町を離れ、空家となっていた家屋敷を平成15年(2003年)長島町が譲り受け、観光客などの休憩施設として改装をし、「長島水辺のやすらぎパーク」として利用することとしました。



牡丹の咲く頃が見物のようです。しかしこれだけ立派の物だけにもう少しPRなどされては？(桑名市の観光ガイドには牡丹の時期の写真がありませんでした。)